

令和5年度 第4回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和5年6月5日（月） 15時00分から16時20分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、原田総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、田中ゼロカーボンシティ担当参事、林健康福祉部長、高山こども・子育て担当参事、清水産業経済部長、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、北原会計管理者、和泉議会事務局長、秦野教育次長、北澤消防長、佐々木財政課長、小室秘書課長、小椋南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

- ・金曜日の大雨災害への対応について、迅速な対応ができた。職員へ労いを願いたい。
- ・昨日午前中に遠山の災害現場に行ってきたが、特に災害の場合は状況を含めて、現場に行かないと分からないことが多いと改めて感じた。災害だけではなく、各部局等の長の皆さんは、できるだけ現場に足を運び、直接話を聞いたり、様子を見ることが大事。改めて願いたい。
- ・災害の時にいつも思うが、何か起こったときの経験値を積み重ねていかないといけない。できたこと、できなかったこと、次はこうしなくてはいけないということは、それぞれの部署で蓄積するとともに、共有して次に生かしていくことが大事である。

<副市長>

- ・本日、市議会の産業建設委員会の勉強会があり、理解をいただくためには、丁寧な説明が大事だと改めて感じた。委員会構成が変わったこともあり、それぞれの常任委員会の対応は丁寧にすること。

<教育長>

- ・今般の大雨による災害への対応で学校の状況等を把握する際に、これまで手書きで行ってきた情報の共有を、パソコン上でできるように工夫し、全ての学校をオンラインでつなげて、共有できるようにした。大事なDXだと感じた。すぐに情報が分かるということ、お互いが見えるという点で、非常に有効だと改めて感じた。

2 報告事項

(1) 令和5年6月2日 大雨への対応状況について

◇趣旨

- ・令和5年6月2日 大雨への対応状況について報告する。

(市民協働環境部長)

- ・金曜日の災害対策本部で、登山口に車が駐車しているという話があったが、今日の午前中確認したところ、車はなかったとの情報が入っているので報告する。

(産業経済部長)

- ・上村地区の孤立に関して、最終的に取り残された方は、上村自治振興センター経由で無事を確認している。

- ・大島河原のキャンプ場は土砂が入り、復旧にしばらく時間を要する状況。

◇災害対応の振り返り

(総務部長)

- ・本部会議において、もう少し現場の状況がビジュアルで分かるように工夫してほしい。綺麗にまとめなくてもいいので、画像がほしいと感じた。

(市長)

- ・今回はやらなかったが、モニターにGISの地図と画像を出して、災害状況を確認することは可能なのか。

(危機管理課長)

- ・入力してあれば、可能である。

(市長)

- ・これまで災害対策本部事務局で被害状況等をホワイトボードへの手書きで共有していたが、今回は途中からプリントアウトしたものになっていた。リアルタイムに情報を共有する観点から、電子情報の活用が有効であれば、そうすべきである。

(建設部長)

- ・建設部は今まで現場対応に追われ、すぐにGISへデータを入力することができなかった。今回は部内で協力し合い、時間を置かずに入力することができた。
- ・市民からの道路の損傷箇所等の情報はLINEを使い、維持管理課へ情報がくるようになっている。緊急度が高いものは、LINEの報告機能を十分活用し、対応をすることができた。

(議会事務局長)

- ・本部会議の連絡について、各部局等の長が必ずしも自席にいない可能性がある。ロゴチャットアプリなどを活用し、柔軟に連絡を取ることも視野に入れるといい。

(市民協働環境部長)

- ・地区拠点班について、センター職員は限られた人数で対応している。土曜日の午後と本日は応援職員が必要であれば要請を受けて、部内で対応したい。

(教育次長)

- ・教育委員会はICT担当の先生に相談し、全ての学校で教員が同時に編集できるスプレッドシートを作成し、電子黒板に表示した。これにより、全ての学校の下校状況や施設状況などが一覧で見えるようになり、どこにいても確認が可能となった。今後の活用方法について、改善点も検討している。

(上下水道局長)

- ・上下水道局は情報掲示板があり、データサーバーに地図や写真などの情報を掲載することができる。今回は有効な活用に課題があったので改善していく。

(企画部長)

- ・災害に対する市民への情報提供は、基本的にはメールを中心に行われている。自動連動でLINE、Twitter、データ放送、地域情報アプリ等へ配信している。ただ、市公式Webサイトとタイムリーに連動していなかった。今回は特に市道の通行止めもあった。情報提供をどのように行うか、体制も含めて考えていきたい。

(市長)

- ・道路管理者でバラバラに情報を流されても市民は困る。市公式Webサイトを見れば分かるように、市が持っている情報を定期的に更新することは、大切な視点。

(会計管理者)

- ・今回GISで道路状況の確認を行った。GISの研修を受けていないとGISを使うことができない。普段の業務でGISを使用しない課等でも災害時に備えてGISを使える職員が複数名いた方がいい。特に第一配備の職員は必ず研修を受けた方がいいと改めて感じた。

(市長)

- ・今回の一連の対応を各班で振り返り、振り返りの中身を共有し、残しておくこと。
- ・南信濃が被災した情報が全国ニュースで報道され、観光産業等への影響が考えられる。もう大丈夫だという情報発信をどのタイミングでどういう内容でやるか産業経済部で検討すること。

(2) 第2次飯田市職員の仕事と生活の調和の推進に関する事業主行動計画 令和4年度実績と令和5年度の取組

◇趣旨

- ・第2次飯田市職員の仕事と生活の調和の推進に関する事業主行動計画 令和4年度実績と令和5年度の取

組を報告する。

◇意見

(市長)

- ・男性職員の配偶者出産休暇及び男性職員の配偶者の出産に伴う子の養育休暇は有給休暇であり、経済的なダメージを受けないので、ぜひ男性職員が取得できるように職場全体で取り組むこと。
- ・少なくとも半年以上前から出産時期はわかる。前後の仕事の調整や職場全体のマネジメントで当該職員が休暇を取得することは可能である。例外を除いて基本的には休暇を取得するよう、マネジメントをしてほしい。令和5年度は取得率の向上を。

(3) こども家庭課の取組について

◇趣旨

- ・こども家庭課の取組について報告する。

◇意見

(市長)

- ・全庁的な取組となるよう、議論すること。組織ができたのでそこに任せるのではなく、課題を共有して、どういうアプローチができるかをみんなで考えること。

(4) 飯田都市計画特定用途誘導地区の決定について

◇趣旨

- ・飯田都市計画特定用途誘導地区の決定について報告する。

(5) 建設業担い手確保に向けた取組について（報告）

◇趣旨

- ・建設業担い手確保に向けた取組について報告する。

(6) 飯田都市計画下水道の変更について

◇趣旨

- ・飯田都市計画下水道の変更について報告する。

(7) 令和4年度飯田市新型コロナウイルス感染症対策事業について

◇趣旨

- ・令和4年度飯田市新型コロナウイルス感染症対策事業について報告する。

◇意見

(市長)

- ・総括のところに、専門家会議のこと及び誹謗中傷相談窓口のことに言及すること。

(8) 第2回定例会各委員会協議会報告事項について

◇趣旨

- ・第2回定例会各委員会協議会報告事項について報告する。

(9) 第2回定例会（閉会日）全員協議会報告事項について

◇趣旨

- ・第2回定例会（閉会日）全員協議会報告事項について報告する。

3 その他、連絡事項

4 閉会